

2023年8月7日

各 位

会 社 名 株式会社マネーパートナーズグループ
 代表者名 代表取締役社長 福島 秀治
 (コード番号：8732 東証プライム市場)
 問合せ先 取締役CFO兼経営管理部長兼人事部長
 宇留野 真澄
 (TEL. 03-4540-3804)

2023年7月次 月次概況（速報）のお知らせ

2023年7月次の当社グループの月次概況（連結ベース）を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

記

年 月	2023年3月期											
	2022年									2023年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位：百万円)	457	432	500	420	493	468	499	464	575	469	467	571
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	130,806	139,280	141,401	113,223	119,648	128,574	113,350	127,232	107,703	105,841	85,507	111,183
外国為替取引口座数 (単位：口座)	348,893	349,810	350,630	351,580	352,358	353,153	354,034	354,921	355,911	357,388	358,445	359,637
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	56,841	56,680	57,597	57,397	58,239	58,842	59,781	58,087	53,578	54,003	54,041	51,650
一般顧客	55,261	55,126	55,939	55,862	56,679	57,382	58,476	56,055	52,006	52,417	52,319	49,931
金融法人（BtoB）	1,579	1,553	1,658	1,534	1,559	1,459	1,305	2,031	1,572	1,586	1,721	1,718
マネパカード口座数 (単位：口座)	158,807	158,600	158,387	158,213	158,026	157,844	157,701	157,517	157,440	155,557	155,331	154,837

年 月	2024年3月期											
	2023年									2024年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位：百万円)	503	502	431	395								
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	72,285	85,026	102,447	105,809								
外国為替取引口座数 (単位：口座)	360,441	361,481	362,428	363,570								
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	52,386	52,333	49,506	48,976								
一般顧客	50,017	50,108	47,361	46,860								
金融法人（BtoB）	2,368	2,224	2,144	2,116								
マネパカード口座数 (単位：口座)	154,562	154,386	154,304	154,276								

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っておりません。
2. 外国為替取引口座数、マネパカード口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。
3. 2011年8月よりCFD-Metals取引（差金決済取引）の取扱いを開始しており、CFD-Metals取引における預り証拠金、取引高（原取引単位を米ドルに換算）及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。
4. 外国為替取引預り証拠金は、一般顧客からの取引によるものとBtoB取引先である金融法人からの取引によるものを区分して表示しております。
5. 2022年3月より、暗号資産CFD取引（差金決済取引）における預り証拠金及び取引高（売買代金を米ドルに換算）はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」に含めて表示しております。

< 7月次の概況 >

7月の外国為替相場は、米ドル/円については、1ドル=144円台前半で取引が始まり、前月末の米ドル買いの影響を受け3日には月中高値となる144円台後半を付けましたが、7日に発表された米6月雇用統計の非農業部門の雇用者数が市場予想を下回ったことから米ドルが売られ142円台前半まで下落しました。日銀による金融緩和政策の修正に対する警戒感と米国のインフレ鈍化に対する期待感が相まって、以降米ドル売りが続く推移となりました。12日の米6月消費者物価指数、13日の米6月生産者物価指数が市場予想を下回ったことで、14日には米ドルは月中安値である137円台前半を付けました。しかし、米ドルの買戻しの動きが強まったことでジリ高の展開となり、21日には日銀関係者からのリーク報道によりYCC修正の観測が後退したことで米ドル買いが一気に進行し141円台後半をつけました。その後はFOMCによる利上げの発表や日銀によるYCCの修正など様々な要因を受けて上下に大きい値動きを続け、米ドルは142円台前半で月末を迎えました。

米ドル/円以外の主要な取扱通貨である欧州・オセアニア通貨については、米ドル同様、月末にかけて値動きの大きい展開となりました。

外国為替相場の変動率は、米ドル/円は当月の1日の平均値幅が1.526円（前月は1.133円）に拡大したほか、ユーロ/円をはじめ多くの通貨ペアが前月より大幅に拡大したことから、全体として前月を上回りました。

このような状況の中、パートナーズFXnanoでは「米ドル/円」、「ユーロ/円」、「豪ドル/円」、「ポンド/円」、「メキシコペソ/円」の5通貨ペアにて、当社所定の注文数量まで原則24時間スプレッド0.0銭（売買同値）の提示を2022年11月16日より業界初の標準化をいたしております。さらに、パートナーズFXnanoの「米ドル/円」のお取引において、スプレッド「0.0銭（売買同値）」での1回あたりの注文数量を1万通貨から5万通貨まで大幅拡大するキャンペーンを継続しております。

また、ゴールデンマネパタイム（17時から27時まで）におけるスプレッド縮小の取組みも継続して実施しております。「米ドル/円」、「豪ドル/円」をはじめとする15通貨ペア以上で、パートナーズFX・パートナーズFXnanoともに業界最狭水準スプレッドの提示を続行しております。その他にも、取引数量に応じたデジタルギフトキャンペーンをはじめ、主要通貨であるユーロ・ポンド・豪ドルの対象通貨ペアでの新規取引数量に応じた最大200万円のキャッシュバックキャンペーン等、様々なキャンペーンを実施しております。

これらの結果、外国為替取引高は、前月比3%増加の1,058億通貨単位となりました。営業収益はトレーディング損益が減少となり、前月比8%減の395百万円となりました。外国為替取引預り証拠金は一般顧客分、金融法人分がそれぞれ減少し、全体では前月比529百万円減少の48,976百万円となりました。

当社は2023年3月15日開催の取締役会において以下のとおり配当方針を変更し、配当性向の用途を従前の親会社株主に帰属する当期純利益の30%から50%へと引き上げる決定を行っております。6月に開催した定時株主総会において期末配当9.00円が承認されたため、2023年3月期の年間配当は1株当たり12.75円となっており、配当利回りは5.12%となりました。

（注）配当利回りの計算において使用した株価は、上記方針変更の取締役会決議日である2023年3月15日の東京証券取引所における当社普通株式の終値である249円としております。

以 上